



けんこう

平成28年2月10日(水)
熊谷市立玉井中学校
保健室



2月の保健目標
心と体を大切にしよう



学校教育目標

「志を高く、夢を大きく、
日々努力する生徒を育てる」

立春は過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。

1月下旬に、本校でもインフルエンザの報告がありました。インフルエンザについてはまだ少数ではありますが、体調をくずしている人は増えてきました。生活リズムを整えるとともに、手洗いを心がける等、かぜやインフルエンザの予防をしましょう。

3年生は、公立受検まで3週間になりました。体調管理に気をつけて、1日1日を大切に過ごしてください。



～性教育講演会(第2回 学校保健委員会)を行いました～ H28.1.27(水)

大人になっていく君たちへ ～命の誕生する現場から～

中島助産院 院長 中島桂子 先生

スライドとあたたかな言葉で、1時間講演をしていただきました。生徒の感想を紹介いたします。



- 私たちが今、こうやって生きているということは、すごいことなんだと改めて思いました。

不安なことや心配なことがあったら、周りの信頼できる人に話して、1人でかかえこまないようにしたいです。

思春期には、いろいろなことがあるかもしれないけど、友人や家族と共に支え合っていけたらと思います。

未来を創るのは、私たちやその子どもです。今日学んだことを忘れないように生きていきたいです。(1-1)

- 大人になるにつれて心や体はどんどん変化していき、その中で悩むことがあっても、信頼できる人、学校の先生などに相談していけるようにしたいです。

人と比べずに、自分は自分なんだということを忘れずに生活したいです。

命は受け継がれてきて、今の自分があり、成長する途中で亡くなってしまう子や、生まれた時から障害のある人がいるということを心にとどめ、その人たちのために自分は何ができるのかを考え、行動し、これからの人生を過ごしていけるようにしたいです。(1-2)

- 私は、今日の講演を聞いて、命の大切さ、母親の大変さがわかりました。私は親に向かって、「うるさい。」など、いろいろな暴言をはいてしまいます。でも、生まれてくる子どもに、母親、父親はいっしょうけんめい愛情をそそいでいることを、今日の講演でわかりました。どんなに私が暴言をはいても、それに対して「やめなさい。」と言ってくれることは、愛だとわかりました。病気を持って生まれてくる子もいれば、おなかの中で死んでしまう子もいる。そう考えると、私たちは幸せなんだなと感じました。(1-3)
- 今日の講演を聞いて、親の苦労は計り知れないなと思いました。私たちをここまで育てるのには、言葉では言えないほどの頑張りがあっただとこの講演でわかり、親にもっと感謝し、その気持ちを伝えるべきだと感じました。「大人の定義とは」このことについて私は、大人とは、自分の言動に責任を持てる人のことを指すと思います。もちろん、子どもを産むことにも責任が生じます。なので、私は子どもを産んで最後までちゃんと育てていける人が立派な大人になれると考ました。自分も、命の重みがわかる立派な大人になればいいと思います。(1-4)

～全員が、しっかりと自分なりに考えた感想を書いていた～



みなさんが書いた感想は、中島先生にお渡ししました。

★あなたたちは、生きるために生まれてきた人としてやってはいけないこと
やらなくてはいけないことがある
★つながっていく大切さを忘れないで
★自分で考えて決められる大人になろう
私は私、僕は僕
失敗を恐れないように訓練していく
～我慢も大切だけど、助けを求めていい～ (まどめのスライドより)



今年度も講演会后、中島先生、男女共同参画室蛭川様、参加していただいた保護者の方々、学校担当職員で意見交換を行いました。

少人数ではありましたが、和やかな話し合いの場になりました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

